

10月1日から

自候生等の採用上限年齢を33歳未満に引上げ

自衛官候補生応募資格一部変更のお知らせ(要旨)
 防衛省
 自衛官候補生の採用は、採用予定月の1日現在、18歳以上33歳未満とする。ただし、32歳の者にあつては、採用予定月の1日から起算して3月に達する日の翌月の末日現在、33歳に達していない者に限る。
 例1:11月に入隊予定の場合、2月末日に33歳に達していない者に限る。
 例2:3月に入隊予定の場合、6月末日に33歳に達していない者に限る。
 例3:4月に入隊予定の場合、7月末日に33歳に達していない者に限る。

防衛省は、自衛官候補生と一般曹候補生の採用上限年齢を10月1日改正し、「27歳未満」から「33歳未満」に引上げました。
 自衛隊に求められる多様な活動を通時適切に行っていくためには、防衛力を支える自衛官には、装備品の高度化や任務の国際化などに対応できる多様な人材を幅広く確保し、有効活用していくことが必要であり、今後、民間企業等での経験を有する人等、より幅広い層から多様な人材を確保していくことが重要です。
 この改正により、27歳から32歳までの方も志願できるようになりました。長崎地本では、まず11月に受付する第4回自衛官候補生募集から適用いたします。
 該当される年齢の方はぜひ、お近くの事務所までご連絡ください。



発行所
 自衛隊長崎地方協力本部
 長崎市出島町2番25号
 TEL 095-826-8844

自衛官候補生とは？

自候生は、3ヶ月の教育後に任期制自衛官となり、1任期目は陸約2年・海空約3年、2任期以降は陸海空とも約2年で、勤務を通じてスキルアップできるとともに、各任期満了時の特別退職金支給などの処遇も充実しています。
 更に部内選抜試験に合格すると曹以上の階級に昇任し、定年まで勤務できます。また、退職を希望する場合も、資格等の取得や専門の担当官による再就職支援が受けられます。したがって、いわゆる「非正規社員」とは全く異なります。

第4回自衛官候補生募集

- ・応募資格 :平成31年3月1日現在で18歳(平成13年3月2日生まれ)～平成31年6月30日現在で32歳(昭和61年7月2日生まれ)の男子(女子は募集は現時点で未定です。)
- ・受付 :11月1日(木)～22日(木)
- ・試験 :12月1日(日)相浦駐屯地、2日(月)大村駐屯地のいずれか1日
- ・合格発表:12月下旬の予定
- ・入隊(採用予定月) :31年3月又は4月

上五島で音楽演奏会！ 集客1000人

自衛隊家族会新上五島地区会は、9月9日(日)、新上五島町石油備蓄記念館において新上五島地区会発足10周年記念音楽演奏会を開催しました。
 当日は、新上五島町長の江上様をはじめ、長崎地本長の小谷様、自衛隊家族会長の浦田様他、多くの御来賓の方々にご来場していただきました。
 合併後の自衛隊音楽演奏会では、海上自衛隊佐世保音楽隊をお招きし、町内から3校の中学校吹奏楽部の生徒(44名)との合同演奏も交えながら実施されました。
 演奏会では、「新上五島町名曲」を含めた素晴らしい楽曲の数々が演奏され、笑客が出るほど埋め尽くされ



時津港初！ 海自水中処分母船の一般公開

琴海地域事務所は8月26日(日)、西彼杵郡時津港(時津ウオーターフロント公園内)において開催された、「ときつ夏まつり」に参加しました。
 この主催である同実行委員会と自衛隊家族会時津地区会(会長・新井政博様)のご支援により、時津地区で初の自衛隊広報ブースを開設しました。
 会場には、時津町長の吉田義徳様をはじめ、多くの親子連れが訪れ、第16普通科連隊(連隊長・南野1陸佐)による装備品展示のほか、時津港に佐世保警備隊水中処分隊(隊長・川崎1海尉)の水中処分母船5号が入港し、艦艇広報を行いました。
 大村湾内で普段目にするのではない自衛隊の艦艇に来場者の大きな関心を集め水中処分母船の船内

た会場の観客の皆様を最後まで魅了していました。(観客動員数1000名)
 終了後は、「かっこよかった」、「感動した」、「もう来るとやるか?」、「もう声が相次ぎ、反響の大きさをうかがい知ることができました」。
 少子高齢化が進む新上五島町ですが、今後もこのような活動を通じ自衛隊の募集に少しでも貢献できればと思います。
 最後に、今回ご協力頂いた海自佐世保音楽隊、隊友会上五島支部、各協賛者、長崎地本の皆様、上五島に最高のプレゼントを本当にありがとうございます。
 自衛隊家族会新上五島町地区
 会長 森本 利一
 事務局長 江濱 和直



見学、特別機動艇や処分艇の体験試乗など沢山の人が楽しんでいました。
 また、水中処分母船の給養員の直接指導により時津町家族会が心を込めて作ったカレー400食は、わずか1時間余りで完売する大盛況となりました。
 今回の広報にご支援、ご協力を頂いた部隊と家族会時津地区会の皆様に改めて感謝申し上げます。(琴海所)

橘神社清掃奉仕活動

隊友会島原半島支部（支部長・吉岡誠一様）、長崎県自衛隊家族会雲仙地区協議会（会長・河内繁信様）は、9月2日（日）、雲仙市千々石町の橘神社において、橘神社総代会と合同で、清掃奉仕活動を行いました。

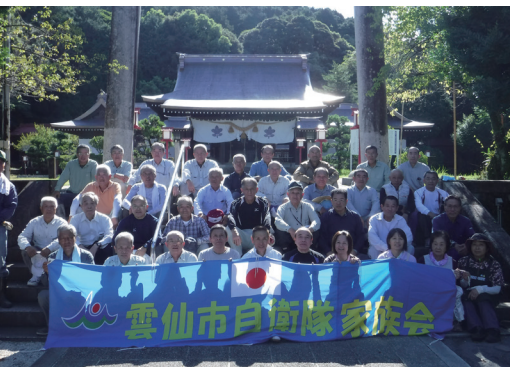
この活動は、軍神橘中佐が祀られている橘神社の敷地内を、毎年9月16日に行われる秋季例大祭に合わせて清掃するもので、今回で5回目となり、過去最多の参加者約50名が集まりました。

初めに吉岡支部長のあいさつの後、橘神社の橘昌樹宮司より安全祈願のお祓いを受け、作業を開始しました。

今年には猛暑のせいもあり9月とは思えないほどの暑さと日差しのおかげで、敷地

内の草刈りや樹木の剪定、空き缶等のゴミ拾いを無事終えました。

再来年80周年を迎える橘神社は、屋根の銅板を今年6月に張り替え、美しい姿になっており、清掃も終了し例大祭の準備が整いました。（島原所）



予備自衛官補へ辞令書交付



長崎地本は、7月22日（日）、7月1日付採用の予備自衛官補の辞令書交付式を行いました。予備自衛官補2名が参加し、山口雄大予備自補の指揮のもと、本部長から辞令書が手渡されました。

予行の際には、自衛隊独特の所作に慣れず、ぎこちない様子でしたが、本番ではきびきびとした動作となり短時間で成長に私達は感銘を受けました。

その後、4月1日付採用の予備自補も参加して、和やかな雰囲気の中で、本部長を囲んで懇談が行われ、本部長からは、経験を交えた

話と、激励があり、予備自補の方からは「しっかり訓練を終了して、予備自衛官になれるように頑張ります」との頼もしい声が聞かれました。

予備自補のみならず、今後一般区分採用の方で3年以内に50日間、技能区分採用の方は2年以内に10日間の訓練に参加し、知識・技能を習得します。

最後に、皆様方の地域や職場に元自衛官である方がいらつしやいます。予備自衛官に興味がある方は、援護課予備自衛官室へご一報をお願いします。

（援護課）

九州・沖縄防衛議員連盟協議会を支援



長崎地本は、8月29日（水）、長崎県防衛議員連盟（宮内雪夫会長）が主催する「第13回九州・沖縄防衛議員連盟協議会」を支援しました。

当協議会は、九州・沖縄各県・各市町村の防衛議員連盟が連携して国の防衛に対する市民の意識の啓発と高揚を図るとともに、自衛隊の諸活動への協力を通じ、我が国の平和と発展に貢献することを目的とし、長崎県での開催は8年ぶりで、副知事、国会議員、各県市町村防衛協議会議員、部長等約210名が参加しました。

まず、総会では、防衛省・自衛隊に対する一層の理解を深めるとともに、隊員の募集・就職支援に対する協力支援に努めたいと決議されました。

引き続き、水陸機動団長青木伸一陸将補による「我が国の列島線防衛と水機団」の講話が行われ、現在の我が国

大浦・梅香崎安全安心夏まつりに参加

長崎地本は、8月4日（土）に長崎市の大浦小学校で行われた「2018大浦・梅香崎安全安心夏まつり」に長崎募集案内所と共に参加しました。

このまつりは、大浦・梅香崎地区の防災意識を高め、地域住民同士の繋がりを深めようと地区自治会が主催しているもので、警察や消防、海保などが協力しました。

地本は、広報ブースを設置し、小型トラックの展示、ミニ制服試着コーナーを開設し、多くの方に足を運んでいただきました。

長崎地本は、今後も地域と連携し、防災意識の高揚と自衛隊の理解促進へ努めてまいります。

（広報室）



人事

【昇格】
行（一）6へ
行（一）5へ
田島 伸太郎

10月1日付

【退官】

3等陸佐 松本 義孝



10月31日付

お世帯になりました



この大会は350年余の歴史を誇る伝統行事で、地本も13年連続で出場しています。

大会では、多くの関係者からの熱い声援を受け、予選第3レースに臨み、声と權を合わせ1150mを漕ぎきり、結果は3位に終わりました。

が、タイムは練習時の最速記録より30秒短縮できました。

次の敗者復活戦では健闘したものの5位に終わりましたが、選手一同は全力を出し尽くしました。

最後に、練習場を提供して頂いた茂木地区関係者、ペIRON船と舵取りにご協力いただいた福田東部BEAMS関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

（総務課）

ペIRON大会で全力

地本は、7月28日（土）、長崎防衛支局と合同で、長崎ペIRON選手権大会に参加しました。